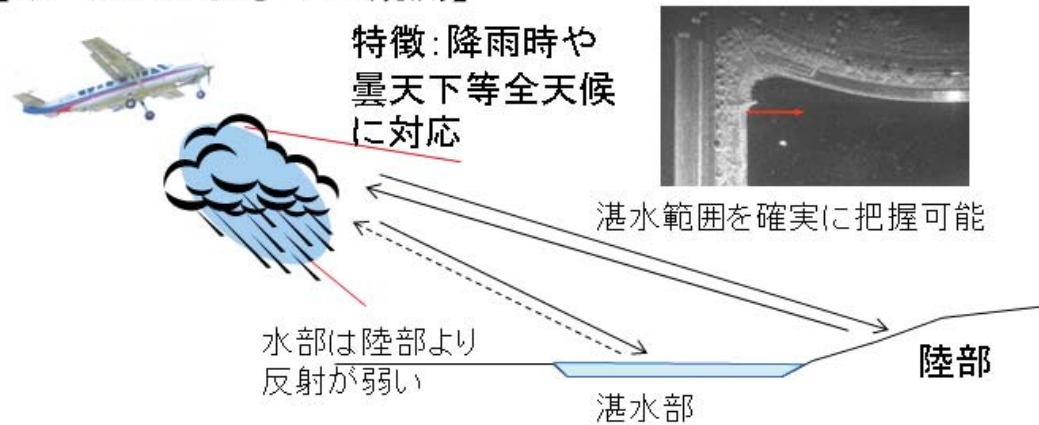


## 航空機搭載型合成開口レーダによる湛水域の観測

地震によって海岸部に多数湛水域が発生したが、円滑な復旧・復興活動のためには、雨天時などでその詳細な状況を迅速にモニタリングする手段が必要。

合成開口レーダを広域観測・高速処理が可能なものに改修し、光学撮影が不可能な雲や煙の下の状況を、レーダ波の特性を活かして迅速・機動的に把握。

### 【くにかぜによるSAR観測】



広域における降雨後の湛水の拡大状況を、迅速・機動的に観測

(従来の所要時間) 約1日 → (改修後の所要時間) 4~5時間

(問い合わせ先)

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

国土交通省 国土地理院

基本図情報部 管理課長 下山 泰志 029-864-4841

課長補佐 齋藤 勘一 029-864-4856